

2025年11月4日

しののめ信用金庫 上半期決算概要を公表

当期純利益は964百万円を計上、前年と同水準の利益を確保。

- ▼ しののめ信用金庫(理事長 横山 慶一)は、令和7年度上半期決算概要を公表した。
- ▼ 当金庫は、企業理念「愛本位主義」に基づき、お客さまにしっかりと寄り添い、金融面と本業面の 両面において、お客さまが抱えている課題の解決に全力で取り組んでまいります。今後も、地域の 重要な課題である事業承継や人材の確保など、それぞれのお客様に最適なソリューションのご提案 に努め、地域経済の発展に貢献したいと考えております。

▼ 損益について

経常利益は、資金運用収益が増加したものの、預金利息の増加や賃金引き上げに伴う経費が増加したことから、前年同期比 13 百万円の減少となりましたが、当期純利益は 964 百万円の計上となり、前年と同水準の利益を確保することが出来ました。収益は安定的に推移しております。(前年同期比△2 百万円)

本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期比1割程度の減少で1,351百万円となりました。預金利息の増加や賃金引き上げに伴う経費の増加が主要因であります。

- ▼ 自己資本比率は国内基準で求められている 4%を上回る 8.58% (前年同期比 0.10%上昇) となりました。
- ▼ 金融再生法に基づく開示債権(不良債権)は、21,122 百万円、その内訳は「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が 2,681 百万円、「危険債権」が 14,832 百万円、「要管理債権」が 3,608 百万円。不良債権比率(金融再生法に基づく開示債権比率)は、4.93%と低い水準です。



NEWS RELEASE

前年同期(令和6年9月期)との増減を、主な開示項目ごとに表でまとめると以下のとおりです。

金額単位:百万円

開示項目	6年9月期	7年9月期	増減値	増減率
預金積金残高	1,064,598	1,071,910	7,312	0.68 %
貸出金残高	429,594	425,986	△ 3,608	△ 0.84 %
業務純益	1,057	1,224	167	15.80 %
実質業務純益	1,084	1,224	140	12.92 %
コア業務純益	1,508	1,351	△ 157	△ 10.42 %
経常収益	6,208	6,775	567	9.13 %
経常費用	4,898	5,478	580	11.84 %
経常利益	1,309	1,296	△ 13	△ 0.99 %
当期純利益	966	964	\triangle 2	△ 0.24 %
金融再生法に基づく 開示債権(不良債権)	20,380	21,122	742	3.64 %
開示債権比率 (不良債権比率)	4.72%	4.93%	0.21%	-

(計数については単位未満を切り捨てて表示しています)

本件に関するご照会は、下記までお問い合わせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〒370-0851 群馬県高崎市上中居町 58 番地 しののめ信用金庫 総合企画部 加藤 TEL 027-330-1175 FAX 027-326-5522

以上